

石膏蠟型鑄造 — 手びねり

10月・11月のワークショップでは鑄造の集中的な体験を通して、その表現の魅力に迫ります。石膏蠟型鑄造という技法は、蠟で金属の原形をつくり石膏の中に埋め込んで鑄型を製作し、その鑄型を焼成して蠟を溶出した空間に金属を流し込むという技法で、完成までに多くの工程があります。今回は蠟という素材に直接触れながら手びねりで原形を制作し、それを金属に置き換えるとどのような表現になるかを体験します。

WORK
ワークショップ10・11月
SHOP



全12日間 ※毎回の積み重ねが必要となる連続的なプログラムですので、全ての回に参加してください。

2019

10

6 [日]、12 [土]、13 [日]、14 [月・祝]、19 [土]、20 [日]

蠟原形制作・鑄型製作

11

10 [日] 鑄型焼成・熔解・鑄込み

16 [土]、17 [日]、23 [土・祝]、24 [日]、30 [土]

仕上げ

※スケジュールは変更の可能性があります。

時間 各日 10時～16時 (途中1時間昼休憩)

講師 高橋勉 氏 (工芸家)

熔解・鑄込工程アドバイザー [11月10日] 鈴木邦彦 氏 (株式会社アルテックス)

場所 宮城県美術館 創作室1 ほか

定員 8人 (抽選)

参加費 無料

申込方法 申込期間中、16時30分まで創作室に直接お越しください。スタッフより15分程度の説明を受けた上でお申し込み頂きます。電話での申し込みはできません。

申込者多数の場合は抽選。美術館より申込者全員に、はがきにて抽選結果をお知らせします。
9月末までにはがきが届かない場合は創作室までご連絡ください。

申込期間 9月1日 [日]～9月22日 [日] ※9/2 [月]、9 [月]、10 [火]、17 [火] は休館

対象 18歳以上。全日程参加できる方。申込時にスタッフの事前説明を受けられる方。

持ち物 作業のできる服装、メモの用具、昼食
基本的な用具材料については創作室で準備します。

お問合せ先 TEL 022-221-2114 (創作室直通)



講師紹介 高橋勉 氏

岩手大学教育学部特設美術構成工芸科卒業、大学在学中に東京で美術鑄物(日本式真土型鑄造法)を研修。海外の鑄造にも関心を向け、青年海外協力隊に参加し、マレーシアで真鍮製品のデザインを指導するかわら、現地の蠟型鑄造法に刺激を受ける。帰国後、南部鉄器の惣型技法による鉄器制作に従事。機会を得て教職に就き、美術科教師として鑄造による作品制作を生徒に体験させる。教職最後の年には、全校生徒とともに環境教育の一環としてアルミ缶3万個余りを家庭から回収し、熔解してアルミ鑄造による壁画(1.5×2.9m)を制作した。

宮城県美術館 〒980-0861 宮城県仙台市青葉区川内元支倉 34-1

手びねり
蠟
から
ブロンズへ